【高岡市】校務 DX 計画

1　高岡市の校務 DX の取組について

高岡市教育委員会では、教職員の働き方改革を推進し、教育の負担軽減と学校運営の最適化を図るため、校務 DX を推進してきた。

令和４年度において、教職員の業務効率化のため、成績処理、出欠管理などの校務をデジタル化するため、統合型校務支援クラウドサービスの導入を行い、併せて、セキュリティ強化とデータ管理の効率化、学校内外からの安全なアクセス環境の構築のため、校務クラウドストレージサービスを導入し、両システムを令和５年４月から本格運用を開始した。これにより、外部からの不正アクセス対策と情報漏洩防止しつつ、学校内外の場所を選ばずに校務処理を行うことができる環境を構築した。

また、この２つのクラウドツールの導入のため、文部科学省の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインに準拠した「高岡市情報セキュリティ管理基準」策定し、同管理基準に即したクラウドツール運用ルールを策定し、この周知徹底を図っている。

2　今後の校務ＤＸの取組について

今後も教員の負担軽減、業務効率化を図るため、さらに校務 DX を推進していく。

（1）学校、保護者間の連絡ツールの検討

学校から保護者への緊急連絡ツールは導入しているが、保護者から、学校への提出物などは多くの学校において紙媒体でのやり取りを主体としている。様々な個人情報を取り扱うことを想定した、高度なセキュリティ環境を持つ、ツールの導入や、既存ツールを活用した運用の検討などを進めていく。

（2）クラウドツールの利用促進

多くの学校ではクラウドツールを活用して、児童生徒の出席、欠席、早退に係る保護者との連絡や、保護者向けアンケートを実施している。また、一部の学校においては保護者会の日程調整等についても、クラウドツールを活用して行っている。紙媒体を介した、負担の多い業務の効率化、簡略化を推進していく。